

昭和時代に乾杯

鶴崎 ひろし

シネマとジャズとアイビーで
粹がる男が ひとりいた
何時かは表に 出られると
夢を信じた 青春時代
遠き 遠き昔の ラヴソング

ジルバにマンボとステップを
小気味にこなした 奴がいた
魅惑のリズムに 乗せられて
踊るダンスの ここちのよさは
俺の 俺の心の ラヴソング

汗水流して・・・